

インターバンクの声（2015 年 9 月 3 日）

米国の 9 月の利上げは、大方見送られる公算が高くなっているのが実情だと思っていたが、どうも一部には 9 月の利上げの可能性がまだあるとの認識のようだ。もちろん見送られる公算が 100%ではないことは解っているし、明日の米雇用統計や来週のいくつかの指標が想定外に強い内容にでもなれば利上げへの意識が戻るのかもしれないが、昨夜の ADP 雇用統計や地区連銀経済報告に驚く内容はなかったはずだ。どうもニューヨーク市場での株価の反発が利上げの可能性への一番の効き目になっているようだ。中国の証券会社が株式を購入するための資金として 300 億元超拠出する話や当局による証券取引への規制強化が見送られたとの噂が中国株の下げ止まりになったらしいが、中国経済の先行き懸念がそう簡単に消える訳ではない。雇用統計の発表前は、方向性が見え難くなっているドル円よりも、0.70 ドルで一旦は底を打ったように見える豪ドル買いに勝機があるかも知れない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。